

『消費税は社会保障のためって本当？』

消費税ネット学習会

【講師】 佐久大学人間福祉学部特任教授

唐鎌 直義 氏

「日本は高齢化社会に向かうため、社会保障にあてる」という理由で、1989年に消費税は導入されました。その後も「社会保障の安定化と充実のために用いる」からと、5%、8%そして10%に消費税率はアップしてきました。しかし、医療制度や年金、介護保険など社会保障は充実するどころか、むしろ後退しています。

消費税は社会保障のためって本当なんでしょうか？そして社会保障を充実するには、もっと消費税率を上げないといけないのでしょうか？

私たちの暮らしに直結するこのテーマについて、ご専門の唐鎌先生にお話しをうかがいます。ぜひご参加ください。



とき 4月16日（土）17時～18時30分

ところ ※コロナの蔓延状況により、「②Web配信」のみになる可能性あり

①建設プラザかながわ（定員50名。下記地図参照）

②Web配信

お申込み

◇会場参加をご希望の方

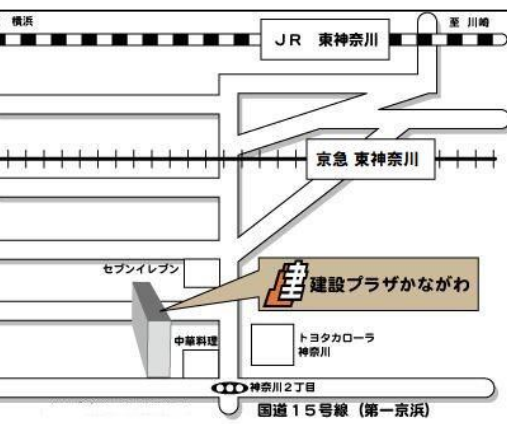
神奈川県社会保障推進協議会へご連絡ください
(TEL045-201-3900)。

一般の方は下記事務局へお電話ください。

◇Web視聴をご希望の方

右記QRコードからお申込みください。

読み取れない場合は、神奈川県社保協ホームページ
<https://kanagawa-shahokyou.jp>からお申込み
ください。一般の方は、下記事務局までご連絡ください。



※横浜市神奈川区神奈川2丁目19-3
(京急東神奈川駅より徒歩3分)



← 消費税ネット学習会
登録はこちらから

【お問合せ】 ※団体に所属の方は、各所属団体へご連絡ください。

消費税を含めた税のあり方を考えるネットワーク 事務局(神奈川県保険医協会内)

TEL 045-313-2111